

平成 24 年度 第 2 回 新河岸川流域川づくり連絡会 議事要旨

平成 24 年 9 月 11 日（火）清瀬市 野塩地域市民センター 第二会議室

項目	内容
I. 議事	
1. 第8回川でつながる発表会について	<p>第8回川でつながる発表会について、連絡会メンバーによる意見交換が行われた。</p> <p>■主な意見等</p> <p>○テーマ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今後は川づくりにおいても放射能を意識することが必要であるため、放射能についての発表内容も含めて開催をする必要がある。・ 平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災と時期が近いいため、テーマを災害にした場合には防災意識の向上が期待できる。・ 局所的集中豪雨による被害は年々増えていると感じるため、テーマを災害にすることはよいと思う。 <p>○現地見学会</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2月の気候を考慮して現地見学会の内容を検討する必要がある。・ 現地見学会と発表会と懇談会の時間配分などを考えて参加者が負担にならないようにする必要がある。 <p>○開催候補地</p> <ul style="list-style-type: none">・ 練馬区は白子川流域の上流にあたるため、上流部の台地における内水被害について知れるとよい。・ 里川 68 号の作成で練馬区役所からの協力も得られているため、さらに連携を強めるきっかけとなればよい。 <p>○埼玉県からの情報提供</p> <ul style="list-style-type: none">・ 災害をテーマにした場合、時間雨量 50mm 程度の降雨による洪水を安全に流下させるための河川改修や、川の再生事業等の取り組みについて情報提供できる。近年の取組事例としては、東川における地下河川の整備があげられる。 <p>■決まったこと</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日程・開催候補地については、災害をテーマにした練馬区を推奨案とし、歴史・文化をテーマにした川越市を代替案とし、会場関係者及び関係機関者との調整を踏まえて決定する。
2. 流域しんぶん里川68号について	<p>■決まったこと</p> <ul style="list-style-type: none">・ 里川 68 号は 9 月末の発行を予定する。
II. 勉強会	
<p>埼玉県県土整備部河川砂防課より、雨水流出抑制対策の概要について紹介があった。</p> <p>■主な意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 総合治水対策の推進にあたっては、河川に関係する部署だけでなく、環境・下水・都市・農業などの部署が連携して勉強会などを実施していくことが望ましい。・ 50mm/h 対応を超える雨に対しては、土木課と建築課が協力する制度を整備したほうがよいと思う。特に、建築基準法に位置づけられた規制については遵守される傾向にあるため、土木よりも建築の補助金制度として導入したほうがよいと思う。・ 柳瀬川流域の自治体は雨水流出対策としての助成金を積極的に出していると思われるが、自治体によっては予算が確保できずに助成の継続が困難になる場合があるようだ。 <p>■決まったこと</p> <ul style="list-style-type: none">・ 次回は東京都に参加していただき「東京都豪雨対策基本方針と白子川流域豪雨対策計画」についての勉強会を実施する。	
III. 情報交換	
<p>◆事務局からの情報提供</p> <ul style="list-style-type: none">・ 荒川下流河川事務所では Twitter での情報提供を開始した。・ 荒川下流河川事務所では、10月19日に荒川船上セミナーを予定している。・ 荒川知水資料館（アモア）のボランティア（通称：アラボラ）による企画として、7月31日に荒川下流の歴史散策（アラボラツアー）が開催された。また、9月22日にアラボラ講座と題してパmana運河と青山土についての講座の開催が予定されている。 <p>◆平成24年度第3回連絡会開催について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 第3回新河岸川流域川づくり連絡会は、11月9日（金）を候補日として、清瀬市において開催する予定である。	

以上